

②一竿〔ひとさお〕 三味線（しゃみせん）。これに関連して
撥（ばち）は一丁という。

(8) 連なっているもの

①一連（いちらん） 目刺し・高野豆腐・ぐさり・真珠のネット
クレス・干し柿・昆布など。

(9) 蓋がついているもの

①一蓋〔ひとがい〕 笠も「蓋」で教えます。笠が人間の蓋
のように見えるからでしょうか。笠には「一笠〔いちりゆう〕」
という数え方もあります。蓋がついた器・笠（かさ）。

(10) 薄くて小さいもの

①一葉（いちよう） 木の葉のように薄くてヒラリと落ちていくも
のを、「葉」を使って数えます。木の葉・名刺・葉書、
写真・色紙・短冊。これらは枚でも数えます。

②一封（いつぶう） 封がしてあるもの。祝儀袋・ぽち袋・
包んだ菓子・お茶の葉・封筒など。

(11) 一串（ひとくし） 団子・うなぎの蒲焼など。

(12) 器で数えるもの

①一壺（ひとつぼ） アメでも梅干でも壺に入れば一壺。

②一釜（ひとかま） カステラでも赤飯でも釜に入れておれば
一釜。

③一鍋（ひとなべ） すきやきでもおでんでも鍋に入れておれ
ば一鍋。

④一籠（ひとかご） 野菜も貝も籠に入れておれば一籠。

⑤一合（ひとあわせ） すずり箱やふみ箱。

⑥一雨（ひとあめ） 雨は一度降れば大雨でも小雨でも。

⑦ほかにも一瓶・一皿・一樽・一袋など。

【4】意味を大事にして数えるもの

①一丁（いっちょう） 丁は直角という意味をあらわす。書籍
でページが抜け落ちているのを落丁というのもここよりきて
いる。豆腐・俎板・剃刀・出前など。

②一挺（いっちょう） 「まっすぐな」という意味のある挺は、
もともと真っ直ぐな道具を数えるときに使った。算盤・包丁・
蠟燭・鋤・鍬・鋸・梯子・琵琶・人力車・墨・砥石など。

③一提（いっちょう） 文字通りですね。銚子は「一枝（いっし）」
という数え方もあります。お銚子。これと同じ用途でももつ
と長い徳利は、一本を用います。



張江 幸男（はりえ ゆきお）

海外・帰国子女教育専門機関 JOBA 顧問
前全日本空輸（株）海外子女教育相談室長、元三菱商事
(株)相談室長、元ニューヨーク日本人学校校長、元台北
日本人学校教頭

④一宇（いちう） 建物を数えるときに用いる「宇」は、屋
根や空間という意味を持っている他、心の広さをあらわす
こともあります。四阿（あずまや）・家・神社・寺など。

⑤一基（いっき） ある形で立っているものを数えるときに使
います。鳥居・香炉・鏡台・エスカレーター・花輪・電灯・
ガスタンク・記念碑など。

⑥一領（いちらよう） 「領」はえりという意味で衿のあるもの
を数えるのに使いました。昔は衾（ふすま）という夜具を
使っていましたので一領と数えました。これと同じ音の襖
(ふすま)も領で数えられます。

襖・絆・下駄・帷子（かたびら）・羽織・鎧など。

まだ沢山ありますので、次号でもお知らせします。

【5】数字は何を指しますか？（辞書を活用しましょう）

- | | |
|------------|----------|
| ①五臓六腑て | ②三種の神器 |
| ③六法全書の六法とは | ④七草粥の七草は |
| ⑤では秋の七草は | ⑥七福神は |

【6】数字入りの人生

数助詞を調べているうちに、昔の日本人は数字で生活を心
豊かに彩っていたようです。これは日本に限らず、中国では、
この面ではお師匠さんだったようです。誕生から祝いの数字を
追ってみましょう。

お七夜（生後7日目、命名披露）

お宮参り（男児31日目、女児33日目）

七五三（男児は3歳と5歳、女児は3、7歳の11月15日）

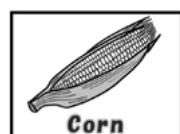
ずっと飛んで白寿祝（99歳）

十全の秋や湖芯の一舟も「赤石」

秋のひと時を数字で楽しみましょう。

【参考図書】

- 日本語の特質（金田一晴彦）
新漢字必携（漢字検定協会）
ものの数え方（小松睦子）



海外・帰国子女教育専門機関 JOBA

〒145-0064 東京都大田区上池台3-39-9

TEL: 03-5754-2240 FAX: 03-5754-2241

HP: www.jolnet.com

ものの数え方（数詞）のレッスンでした。いろいろあって、面白い
ですね。初めて知る数え方もあって、勉強になりました。感謝！
皆さんへ質問です！上のイラストの「とうもろこし（corn on the
cob）」はどう数えますか？日本語では1本・2本。では、英語では？
実は、この質問、日本から来た子どもが受ける英語のクラス分けのテスト
に出題されました。答えは「an ear of corn」です。2本ならば「two ears」
となります。「見た目」の数え方でしょうね。数詞は、文化の表れ？
お子さんに聞いてみてください。そして、会話のネタに、どうぞ！